

平成 26 年度 糸魚川市外国語活動部 活動報告

部長 鹿住 寿和

- 1 研究主題 意欲的にコミュニケーションに取り組む授業の工夫
- 2 活動の概要 5月22日(木)市教研 部長・副部長会 会場;糸魚川小学校
・平成26年度研修計画立案
11月11日(火)市教研 外国語活動・英語部一斉研修 会場;能生中学校
・公開授業(中学3年) ・協議、意見交換 ・指導

3 活動の実際

(1) 公開授業 3年「What is the most important thing to you?」

本時は、人に関する詳しい情報について、関係代名詞を含む句を使って説明する学習内容であった。導入では、ウォームアップとして、挨拶やクリスクロス、縦ペアでの会話などをゲーム的に楽しんだ。展開では、前半に関係代名詞を用いた表現の定着活動として、イラストと動詞句を印刷したピクチャーカードを用いながら反復練習を行った。後半は、プリントに示された絵の内容を相手に伝える活動を行った。ここで使用した絵は、英検3級、準2級の2次試験で使用されたものである。



教師の明るい表情と小気味よいテンポに促され、40人近い生徒は皆、明るい表情で男女分け隔てなく学習に取り組んでいた。ALTとの連携もよく、学習は切れ目なく、スムーズであった。また、指示や問いかけは、ほぼ英語で、これまでの学習の成果がよく表れていた。

(2) 授業協議・意見交換



参観者を4班に分け、KJ法での授業協議と発表を行った。どの班からも、人間関係づくりや学級の雰囲気よさ、テンポのよい授業、バリエーション豊富な授業、ALTとのスムーズな連携など、学習の質の高さを称賛する声が聞かれた。男女分け隔てなく、楽しく学習に取り組む生徒。何より教師が明るく、生徒一人一人を確認し、認めながら指導することが重要であることを学んだ。

(3) 指導 指導者 上越教育事務所学校支援第2課 指導主事 重野 準司 様

今回は、外国語活動の充実の観点から指導をしていただいた。その幾つかを紹介する。

- ・外国語に出会うことを通して言語や文化への興味・関心を高めることに加え、「話す・聞く」の部分についてなじませることが大事である。
- ・外国語活動を通して、人と関わる楽しさを体験する、簡単な英語で自分のことを表現する機会や友達から受け止めてもらう機会をもつ。このことが社会性の育成につながる。
- ・日本語を効果的に使い、英語を聞きたくする工夫をする。
- ・英語を言葉として使用させる手だてを考える。(ゲームの中で安易に使わせない。)
- ・授業の終わりの振り返りを大事にする。(できるようになったことを自覚させる。)
- ・教師が外国人とコミュニケーションを丁寧にもとんとする姿を見せることが大事である。

4 成果と課題

教師の指示をしっかり聞き、個人、ペアで意欲的に課題をこなしていく授業は大変参考になった。参観者からも、「コミュニケーションの多い授業で、生徒も楽しく活動していた。『中学3年になると活動をしたがらない。』』と思い込んでいたが、積極的に活動していて感動した。」「50分間、生徒が英語を話している時間が非常に多かった。文法を文字の配列のルールではなく、聞き、話す中で頭に徐々に残すように指導していて、文法指導の手本を見せていただいた。」というような感想が多く聞かれた。次年度も参観者にヒントと元気を与える研修、活発な外国語活動、英語学習を目指した授業研修を進めたい。